

#	ご質問	回答	回答者
1	スークの写真は内戦前のものだと思いますが、今はどのような感じなのでしょうか？	お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。スークは、ご存じのように破壊されたということになっています。ただ、アレppoは建材が石ですので、燃えたのは扉や家具だけで、石の壁や天井は残っているところもあります。石さえ継続利用してくれば（まちがっても鉄筋コンクリートにはしない等）、補修もなんとかなるのではないかと思います。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！	松原康介
2	同じような商店が並んでいると、助け合いというよりはお客さんの取り合い（=売り上げが下がる）になってしまうように思うのですがどうでしょうか。助け合い・組合的な機能の具体例があれば教えてほしいです	お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。大変よいご質問をありがとうございます。短期的には、取り合いになる可能性もありますが、集まっていることで、長期的にはスークの知名度があがり、そこに人が集まるようになります。その利点が大きいです。そのうえで、実際には、小売店に見えて裏では（！）商品をシェアしているので、お客様向けに商品を融通しあっているのだといわれています。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！	松原康介
3	アレppoはシルクロードの交易路にあったとの事ですが中国方面からの遺物、文化での名残はあるのでしょうか？	お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。いろいろありそうですが、アブー・サイド『シナ・インド物語』藤本勝次訳という、唐時代の西安について書かれたアラビア語文書が、アレppoで発見されています。どうやら中国史でも重宝されているようです。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！	松原康介
4	スークの店は、1店舗1商品ですか？万屋のような色々なものを扱う店はありますか。	お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。さて、万事屋のような店ですが、少数ですがあります。私の記憶ですが、誰にとっても必要な日用品や食料品を扱う店にその傾向があります。もちろん、基本的には特定商品を扱っている店がほとんどですが、万事屋さんは、その中にちょこんと混じっている感じです。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！	松原康介
5	家主はどういう人なのでしょうか？ また、大資本が小さな店を買い占めし大型化する動きって今までなかったのでしょうか？	お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。とても重要なお質問です。実は、スークの店舗物件は、ワクフというイスラーム社会の公共物ということになっています。実質的には賃貸ですが、家賃や売り上げのあがりの一部をモスクやマドラサといったイスラーム関連施設に寄付するシステムとなっています。そして、それが機能していたがために、富豪等による私的所有がおこりにくく、大型化することが少なかったといわれています。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！	松原康介
6	アレppoのスークと、フェズのスークとの違いはあるのでしょうか？	お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。はい、基本は類似しているという前提の上ですが、まず歴史が違います。アレppoのほうが圧倒的に古く、基盤もローマ時代にさかのぼります。建材もアレppoは石材なのに対し、フェスは日干しレンガでした。建材が歴史を反映しています。それもあって、規模はフェスのほうが小さいです。完全に一人用のオペレーションの店舗はアレppoにはないと思います。このへんの話は、ローマの大型店舗からスーク店舗への細分化へ、というテーマに関連ありそうです。ぜひまた議論させてください。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！	松原康介

7	<p>スークの未来について共感しました。もともとの店主や売り子が戻ってこられる場所になるといいと思うのですが、この方たちは内戦後、シリア国内にとどまることが出来ているのでしょうか？</p>	<p>お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。これは一概には言えないと思いますが、スークの商人は店舗は小さくてもしっかりした組合に守られていますので、必ずしも国外にでなければならない状況だったとは限らないだろうと（希望的観測ですが）思っています。ただ、ダマスクスに対する敵愾心が強いのも、これらアレppoの商人達でしたので、アレppoが陥落した今、戦犯のように扱われていなければよいなと思います。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jp までご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！</p>	松原康介
8	<p>キャラバンサライは仲卸のようなことをやっていたのですか？ また。復興の話というのは既に始まっているのでしょうか？</p>	<p>お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。正直、私にもはっきりとはわかりません。直観的には、様々な種類の商売があるので、仲卸（仲介業）もあっておかしくないだろうと思います。個々のキャラバンサライがそうした機能を持っていたかどうかまでは、今はわかりません。あとは、仲介という性質が、イスラームの教法的にひっかかりそうな気がします。イスラーム金融が利子なしということなどが想起されますね。しかし、申し訳ないのですがはっきりとはわからないので、私としても調べてみたいと思います。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jp までご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！</p>	松原康介
9	<p>女性の店主もいるのでしょうか？また、現代でも車以外の手段で荷物を運んでくることがありますか？</p>	<p>お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。女性の店主はありました。特に、女性向けの衣類（ヒジャーブから下着類まで）などは女性同士でなくては商売は難しいかもしれませんね。ただし、全体としてはまだまだ男性が多いです。それから荷物ですが、あくまで都市内では、馬やロバがまだまだ現役です。細やかなルート配送には便利なんだろうと思います。さすがに、都市間交易はすべて車だだと思います。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jp までご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！</p>	松原康介
10	<p>ワクフの運営形態に他の宗教を持つ人々は参加できるのでしょうか。文化的多様性というときに、ローマの文化を取り入れたような柔軟さは持ち得るのでしょうか。 スークごとに商品がまとまっているのが運営や売買にに効率が良いのでしょうか。</p>	<p>お返事おそくなってしまい、まことに申し訳ございませんでした。ご質問ありがとうございました。まずワクフですが、ワクフは実体的には店舗の賃貸料のような形をとるので、お金さえちゃんと払えば非ムスリムでも参加できたらと思います。たとえばユダヤ人なら貴金属のスークを形成しています。また、多様性ですが、たとえばローマ経験のないモロッコのフェスのようなまちと比べてみると、スークも本当に迷路的です。しかしアレppoやダマスはまっすぐな道が多く、これが（それでも変わり果てているとはいえ）ローマ的な空間の名残だとはいえると思います。店舗もアレppoのほうが大きいです。それから効率ですが、一つだけぽつんとあるより、たくさん店がある場所に人が集まる、というのがまずあるだろうと思います。「あそこに行けば必ずほしいものがみつかる」とか。その上で、過度な競争にはさせず、むしろ組合で助け合う、というシステムなのだろうと思います。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jp までご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！</p>	松原康介
11	<p>15歳でアラブにはまるってというのはマニアックですが、アラブの世界にであったきっかけは何ですか？</p>	<p>15歳（中学3年生）の時に、T・E・ロレンスの自伝を読みました。 *通称「アラビアのロレンス」。本名はトマス・エドワード・ロレンス。 イギリスの軍人であり、考古学者です。 その後、映画「アラビアのロレンス」を見て、砂漠とアラブ世界に魅せられ、その素晴らしさを自分なりに表現したい、伝えたい、と言う想いで写真の道を選びました。</p>	吉竹めぐみ

12	<p>1. 現在のアレppoのスークの復興状況はいかがでしょうか？</p> <p>2. 店主や売り子の登記の記録は、内戦で損なわれず、モスクや役所などに保管されているのでしょうか？</p>	<p>お返事が遅くなってしまい、まことに申し訳ありませんでした。ご質問ありがとうございました。さて現在ですが、なんらかの応急的補修がなされていると聞いています。アレppoのスークは石造ですので、火災に対しては強いと思われ、ある程度構造も残っているはずなのですが。とはいえ、拙速に補修すると鉄筋コンクリートなど現在の材料を使ってしまうでしょうから、そういうことがないようにお願いしたいところです。おそらく、研究者などがしっかり監修して行う本格的な復興は、まだこれからなのだろうと思います。それから商店の登記ですが、スークの店舗はみなかつてのワクフですので、それに準じてしっかりリストはあつたろうと思います。なるほど、そのリストがあれば、店主を呼び戻す際に根拠になりそうですね。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！</p>	松原康介
13	<p>何故「ARAB」の写真集がアメリカで発売禁止になったのでしょうか？理由を教えてくださいませんか？</p>	<p>アメリカ・カナダで発売禁止なのではなく、書店での店頭販売を断られました。売れないから、が理由です。まだまだアラブに対する反発や偏見が多く、そうでなくても一般的に写真集は売れないので。ただ、アメリカ・カナダのAmazonでは販売しています。</p>	吉竹めぐみ
14	<p>スークのマネジメントは、他の地域や国とも共通しているのでしょうか。参入障壁などはどのようなものですか。</p>	<p>ご質問をありがとうございました。お返事が大変おそくなり申し訳ありませんでした。スークは、19世紀の近代化までは、すべてワクフというイスラームの寄付の制度によって成り立っていました。店舗の家賃や売り上げの一部をイスラームの施設（モスクやマドラサなど）に払うことで、商売もできるし社会も持続可能、というシステムがあったのです。その意味では、いわゆるイスラーム世界に広くみられるマネジメント手法なのだろうと思います。概して、貧しくて元手がなくても商売がはじめられるといわれてはいますが、商人組合の強いアレppoあたりでは、現実にはある程度実績のある商人でなければ入れなかったと思われます。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！</p>	松原康介
15	<p>スークの未来について、お伺いさせていただきます。お話の中で、観光地化してはならないことや、元の店主や売り子を戻すことが重要だとのことでしたが、こういったアクターが復興の中でそのような点について取り組むことができるのでしょうか。お答えいただければ幸いです。</p>	<p>ご質問をありがとうございました。お返事大変おそくなり申し訳ありませんでした。おそらく、役所が店舗の登記情報や店主のリストをもっているでしょうし、それ以前に実際の店主たちが自分の店だと主張するでしょうから、アクターとしてはやはり現場の商人や関係行政の人たちが大事だろうと思います。しっかり公平に戻すことが大事だろうと思います。以上、お答えになったかどうか。。。もし、さらなる情報が必要でしたら、ぜひ、私のメールmatsub[a]sk.tsukuba.ac.jpまでご連絡を頂ければ幸いです。どうぞご遠慮なく！</p>	松原康介
16	<p>ベドウィンは現在、内戦やコロナの影響で、どこでどんな生活をしていますか？</p>	<p>内戦前と変わらず、沙漠で羊、ヤギ、ラクダを飼育する遊牧生活をしています。ただシリア国内の経済が悪化しそれらを購入する人が減ってしまいましたが、その分価格も上がりましたので生活は変わっていないと思います。また、内戦前からサウジアラビアに居る親戚の所に働きに行っている家族もいます。コロナの影響は無いと思います。2年程前から写真や動画を沢山送って来てくれるのですが、誰もマスクをしていませんし、画像を見る限り平和です。</p>	吉竹めぐみ
17	<p>乳搾りは女性の仕事だと仰っていましたが、生計をたてていくのに十分な収入を得られるのですか？</p>	<p>ベドウィンの主な生計は羊の販売です。ドルにして1頭約100～150で売れます。年によって異なりますが（エサである草が少ない年だと栄養状態が悪く仔羊を沢山産まない、などの変動があります）大体1家族に300頭前後の羊がいるので、生活するには十分です。他にヤギもいますし、家族によってはラクダもいます。もちろん羊のミルクは販売します。</p>	吉竹めぐみ
18	<p>シリアのこと、ほとんど知りませんでしたので、驚いています。スークにしても、ベドウィンにしても、どうして、こんなに伝統的な生活が今でも守られているのですか？現代文明に毒されている場所もあるのでしょうか？</p>	<p>家族を大切にすること、他者を思いやること、が結果自分たちの生活・文化を守っていることに繋がっているのではないのでしょうか。現代文明に毒されている場所は…無いのでは？と思います。</p>	吉竹めぐみ

19	学校へ通っている写真は男の子たちとおっしゃっていましたが、女の子は学校へ通わせてもらえないのでしょうか。	女の子は家の仕事が多く殆ど通っていません。ただ沙漠に定住しているベドウィンは、定住地内に学校があるので通っています。	吉竹めぐみ
20	学校ではどのような教育が受けられるのでしょうか。	シリアの教育は6・3・3制で小学校6年間が義務教育です。イスラム教徒が約90%を占めているため（ベドウィンは約100%）、イスラムの教えにのっとり男女共学は小学校までです。授業は土曜～木曜で金曜日が休み。午前8時～午後1時30分まで、日曜は12時30分に終わります。国語や算数など私たちと変わらない教育を受けています。ただベドウィンは殆どが小学校までしか通いません。小学校は沙漠にある定住地内にあるので通えるのですが、中学以上は町に行かないとないので。	吉竹めぐみ
21	生活サイクルは太陰暦でしょうか？満月や新月で行事はありますか？宗教はどうでしょうか？	ベドウィンは約100%イスラム教徒です。私が見聞きしたベドウィンは100%イスラム教徒ですが、ごくごく僅かキリスト教徒がいると聞いています。なのでイスラム圏で用いる太陰暦を使っています。ただ生活で感じるのはラマダーンの時くらいです。新月や満月で行事はありません。	吉竹めぐみ
22	吉竹さんに質問です。イスラム圏で女性の写真を撮る場合、支障ありませんでしたか？女性が女性の写真を撮る場合は、いいのでしょうか？	イスラム圏では女性の写真を撮る際に細心の注意が必要です。厳しい所ですと独身女性を撮る際は父親の許可が必要で、既婚女性は夫の許可が必要です。ただ国にもよりますが、シリアは気さくな人が多く、特に他国の人に対してのホスピタリティーが素晴らしいので撮影しやすいですが、女性に限らず男性の写真を撮る際も「写真を撮って良いですか」、と尋ねるのがベストです。でも仰る通り、女性が女性を撮る方が撮りやすいのは確かです。また、アラブの人たちは写真が大好きです。特に記念写真と言いますか、自分が入っている写真が好きで、撮るのも撮られるのも好きです。	吉竹めぐみ
23	沙漠での大雨など気候変動の影響はどうでしょうか？ベドウィンの方の生活に逼迫あるのでしょうか？	天気はベドウィンの生活に非常に影響します。彼らの主なる生計である羊のエサ、草の生育に影響するからです。雨が少ないと草が少なくなり、羊の栄養状態が悪くなり痩せたり（販売する際に安くなる）仔羊を沢山産まなくなります。	吉竹めぐみ
24	ベドウィンは自動車を使っているのですか？	はい。車を使っています。大抵は大きなトラックです。家畜、物、人、家（引っ越しの際）の運搬に使用します。トラクターを持っている人もいます。	吉竹めぐみ
25	ベドウィンの人たちはシリア内戦の影響をどのようにうけているのでしょうか？	内戦の影響はあまり受けていないと思います。羊等の家畜に関して問題はありますが売買出来ていますし、家を壊されたりしていません。ただ、シリアには兵役義務がありベドウィンの人たちも徴兵されますので、紛争の現場に立たされています。（幸いにも私のホストファミリーの家族には亡くなった人はいません。友人・親戚にはいると思いますが）更に、サウジアラビアなど、親戚の所に働きに行っている家族がシリアに戻って来にくくなった事もあります。とは言え、2年程前から頻繁に送られてくる動画や写真を見る限り、賑やかな結婚式も行っていたり、本当に紛争下？と思う程穏やかで変わらない暮らしをしています。	吉竹めぐみ
26	素敵な写真、エピソードをありがとうございました。3人の妻を持つ財力という羊何頭位お持ちなのですか？また、経済的变化（物価高、貨幣価値変動）などの影響があっても羊だけで生計を立てられる状況は盤石そうでしょうか	拙い話にも関わらず、お褒めいただき恐縮しきりです。どうもありがとうございます。多妻を持つ財力ですが、羊を何頭と言う様に具体的に決まっています。ただ基本的には妻、及び家庭は精神的にも経済的にも同等にしなければならないので、ある程度の経済力が無ければ養えません。因みに妻たちは同居しているのではなく、それぞれ家があります。内戦により経済的变化がありますが、シリア人は何より羊の肉が大好きでそれに伴うミルクもチーズも好きです。また、羊はドルにして1頭約100～150で売買されるので（その年によって保有数は変わりますが）経済的には安定しています。	吉竹めぐみ

27	<p>キリスト教の旧約聖書における、カインがアベルを殺害する原因となった神への捧げものについてです。</p> <p>聖書（ESV）の創世記#4:4に "Abel also brought of the firstborn of his flock and of their fat portions."（アベルは彼の羊の初子と脂を捧げた）とあります。</p> <p>この羊が Awassi（アワシ種）で、"fat portions" というのはシッポの脂のことではないかと思っているのですが、どう思われますか？</p> <p>何かご存知のことがあればご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>実は私はクリスチャン（プロテスタント）でして、ご質問について私よりは教会の牧師先生の方が詳しいと思います、伺いました。</p> <p>下記、回答です。</p> <p>fat は「脂」でもあるし「肥らせた」とか「最上のもの」を意味します。ヘブル語では ケーレーブと言う言葉で、旧約聖書で92回使われています。そうすると、アベルは「しっぽの脂」をささげたということになるわけですね。その考え方も心にとめておきますが、聖書の中で、別に「あぶら尾」ヘブル語で「アルヤー」という言い方（出エジプト記 29:22、レビ記3:9、7:3、8:25、9:19）があり、それが、それに当るのかもしれませんが。そうだとすると、アベルの時も「あぶら尾（アルヤー）を持ってきた」と言ったのではないかと思います。そうではないので、ここは「肥えたもの」という読み方がいいのではないかと思います。もちろん、アワシの肥えたものだったかもしれないわけです。</p> <p>因みにこの時代は何年くらい前かですが、アベルの時代はわかりません。創世記にある人物の系図は、省略されている人もいるだろうと思いますが、私は、比較的「若い地球」を信じているので、1～2万年の間のことなのかなと推測しています。また、アブラハムがイサクをささげる時代は、BC2030～50年頃ではないかと思えます。</p> <p>更に現在のどのあたり場所なのかですが、アベルの場所はわかりません。イサクをささげた場所は、「モリヤの地」（22:2）というのは、エルサレム神殿が建っていた付近だと思います。</p>	吉竹めぐみ
28	<p>サクランボとサポテンの下にある赤いフルーツ？はなんですか？</p>	<p>ご質問ありがとうございます。トゥートと呼ばれる桑の実の種類の甘いフルーツです。実をジュースにして飲むこともあります。</p>	田村雅文
29	<p>吉竹さん:定住化優位の現在の世界状況の中で、若い人々は遊牧生活を選択していくのでしょうか。</p>	<p>ベドウィンの家族と出会ってから25年が経ちましたが、その中で定住生活を選択した若者はいません。町での生活を経験した若者も沙漠での生活の方が良いと言います。</p> <p>ただ一人、沙漠の生活が嫌で町に出た親戚はいます。私が関わっている約200人の家族の中の話ですが、ですが政府の定住化政策もあり、数が減少しているのは確かです。</p>	吉竹めぐみ
30	<p>ダマスカスは金属細工の伝統工芸を聞いたことありますが、今でも職人の方はいるのでしょうか？</p>	<p>ご質問ありがとうございます。仰る通りダマスカスは金属細工などの伝統工芸が有名です。職人の方の一部は海外に移り住んだという話を聞く一方で、今でも伝統工芸を続けている方もいると聞きます。是非またダマスカスを訪れた際に確認してみたいと思います。</p>	田村雅文
31	<p>負傷者の施設の運営主体は、どこでしょうか。</p>	<p>2013年、2014年などは、湾岸地域の富豪がビルを一棟借り切って支援していたこともありましたが、しかし、シリアの混乱の長期化により、欧米等に移民したシリア人などが支援を始めて主体がそちらに移っていきました。</p>	田村雅文
32	<p>ダマスカスは現在、戦争前に比べるとどのぐらいの人が暮らしているのでしょうか？</p>	<p>ご質問ありがとうございます。戦争前は2000万人くらいの人口でした。シリア国外に600万人近い人たちが今も逃れているので、恐らく約1400万人くらいではないかと思えます。欧州への移民などもいると思うのでもう少し少ないのかもしれませんが・・・。</p>	田村雅文
33	<p>アブ・ムハンマドさんがはじめは「援助してほしい」といい、後に田村さんのことをよく知ると「おれたちは援助なんか必要じゃない」とおっしゃったようですが、援助について正反対のことを口にする理由はなんでしょうか。</p> <p>「難民として外国人にたいする建前」と「アラブ人としての本音」ということでしょうか。</p>	<p>メッセージありがとうございます。言葉足らずですみませんでした。おっしゃるように私は捉えました。突然の外国人を警戒しつつも、外国人なら援助をしてくれないかという申し出がありましたが、様々な話をしていき、お互いの素性が分かり、信頼が生まれたところで、彼は本音を言ってくれたという風に思いました。このエピソードは象徴的にご紹介しましたが、シリア人の方々の家庭訪問をした時に同じようなことは沢山ありました。人間だれしも、見ず知らずの人には本音でしゃべらないと思いますが、私がアラビア語を話し、シリアにいたことを知ると少しずつ胸襟を開いてくれる経験を多くしました。</p>	田村雅文